

# 口永良部島の火山噴火

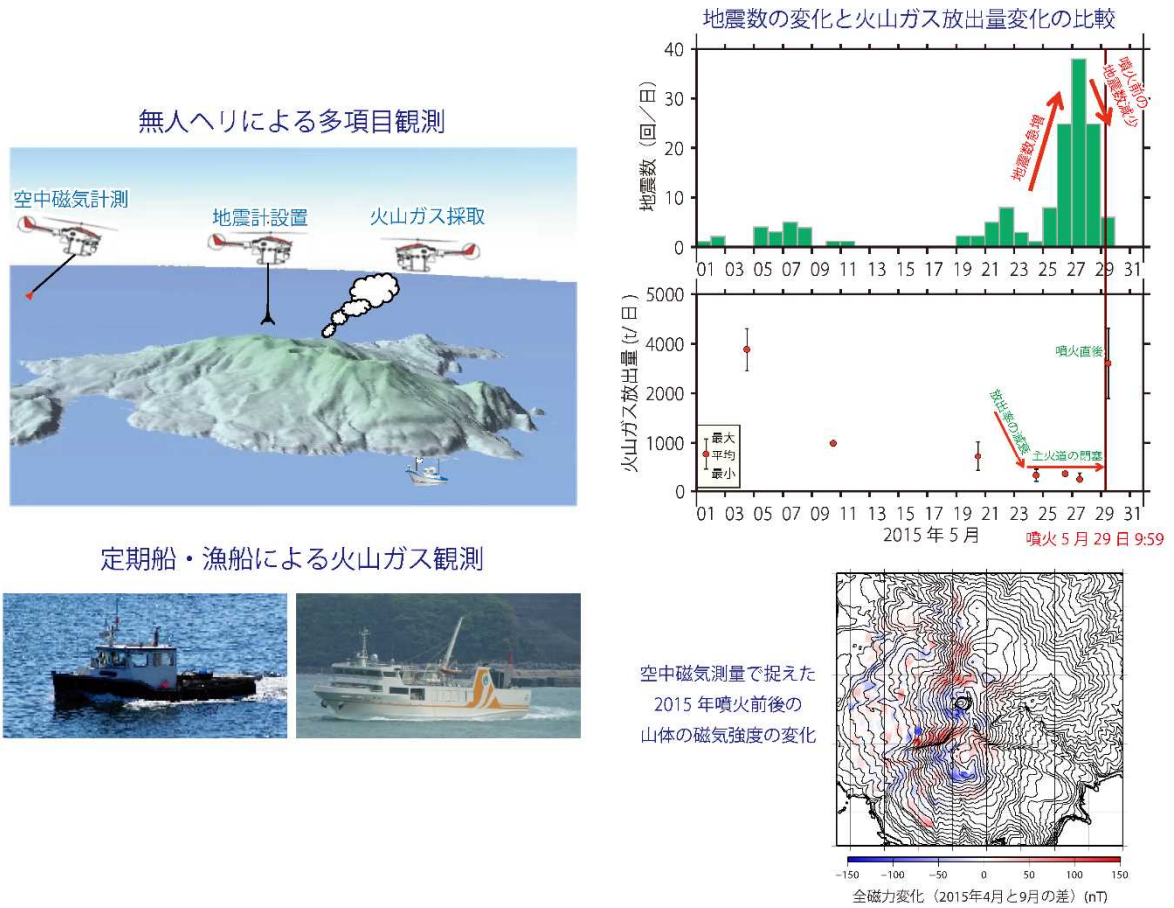


図1 口永良部島の火山噴火に関する観測と結果

口永良部島では、2014年噴火後は火口近傍へ近づくことが困難になり、無人ヘリによる空中磁気計測や火口近傍の地震計設置、船舶を利用した二酸化硫黄ガス放出量の観測など、多項目の機動的観測が行われた。その結果、地震活動の活発化や火道の閉塞等、2015年噴火前の諸現象が捉えられただけでなく、噴火発生後には活動推移を把握し噴火警戒レベルを引き下げる判断にも役立てられた。